

特集

**セメダインの技術**

裏表紙

キーワードで知る  
セメダイン

スポーツ X シリーズ

株主様ひろば

**P9**

**P5**

ニュース&  
トピックス

**P6**



トップ  
インタビュー **P1**

第**82**期 事業報告書

平成27年4月 1日から  
平成28年3月31日まで

# CEMEDINE REPORT

**P7**

決算  
ハイライト

会社概要・  
株式情報

**P10**

## 長期経営戦略 「セメダインプライド2023」をスタート、 利益拡大と価値向上に向けて チャレンジし続けます。

### ■ 平成28年3月期の連結業績

売上高	25,731百万円 (前期比 0.8%減)
営業利益	794百万円 (前期比 28.9%増)
経常利益	746百万円 (前期比 0.8%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	386百万円 (前期比 44.5%増)

**Q** 当期(平成28年3月期)の業績について、  
ご説明ください。

**A** 売上高はほぼ横ばいでしたが、  
原材料価格の値下がりなどにより  
営業利益は大きく増加しました。

市場の動向としては建築土木関連市場は住宅投資に持ち直しの動きが見られ、比較的堅調に推移しました。工業関連市場は中国をはじめとするアジア経済の低迷などにより厳しい状況が続き、一般消費者関連市場はほぼ横ばいの状況となりました。この市場動向を反映し、当社グループの売上高は全体で257億31百万円(前年同期比0.8%減)となり、建築土木関連市場は堅調であったものの工業関連市場の販売は減少しました。一般消費者関連市場はコンビニエンスストアでの新規採用やホームセンターの販売が功を奏し、堅調に推移しました。

代表取締役社長  
岩切 浩

#### 企業理念

人を大切にし、  
より良い製品をより多くの人々に  
提供することにより  
社会に貢献する

利益面については、原油価格やナフサ価格の下落により、一部の原材料価格が値下がりにしたことや、前期まで計上していた退職給付会計基準変更時差異の費用処理が終了したことなどによる人件費の減少などにより、営業利益は7億94百万円(同28.9%増)と大幅に増加しました。しかし、前期に計上した為替差益などの減少があり、経常利益は7億46百万円(同0.8%減)と微減になりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については法人税等調整額などの影響で3億86百万円(同44.5%増)となりました。



本年1月の第2回ウェアラブルEXPOに出展した「着るセメダイン」は、各種メディアに注目されました(5ページ参照)。

**Q** 当期の新製品などについて教えてください。

**A** タイル張り用接着剤など、性能面で優れて、特徴のある製品開発を進めました。

当社の売上のほぼ半分を占める建築土木関連市場では、外装タイル張り用接着剤のリニューアル製品として「セメダインタイルエースPro」シリーズの販売を開始し、好評を得ています(6ページ参照)。当社が30年前に提案した「剥れにくい」弾性接着による外装タイル張り工法が市場に定着するなかで、より使いやすく、より多機能に使える製品として、今後の成長に期待しています。

工業用途では広範囲の接着性、フレキシブル性、耐久性などを兼ねそなえた導電性接着剤「セメダインSX-ECA」シリーズの販売を開始しました。この製品は布やフィルムなどの柔らかい素材に直接プリント配線することを可能とし、従来にない用途への展開を目指しています。この一例として

**Q** 海外の状況や戦略についてお聞かせください。

**A** 国内も海外も関係なく世界中どこでもお客様のニーズを満たしていけるよう、海外市場への展開を加速します。

日本市場に留まっているだけでは大きな成長は期待できず、また国内も海外も関係なく世界中どこでもお客様のニーズを満たしていける、品質保証を含めた供給体制を確保していくことを目指しています。特に成長性の高いアジアを中心とする海外市場への展開を加速させます。従来から進めてきた自動車、工業用途に加え、建築用途での展開も本格化させるうえで、タイ、台湾、中国、フィリピンの各拠点との生産、営業での効率的連携が要と考えています。

また昨年にはトルコの全長世界第4位となる吊り橋工事において当社の製品が採用されました(5ページ参照)。



**Q** 株式会社カネカの連結子会社になりましたが、事業への影響などについて教えてください。

**A** 株式会社カネカとの従来からの良好な連携を一層強化し、事業シナジーの創出を目指します。

当社はシーラントと接着剤に特化したメーカーであり、従来より素材メーカーである株式会社カネカ(以下、カネカ)から原料樹脂を購入し、良好な取引関係を築いていました。カネカの公開買い付けにより、当社株式保有が従来の30%程度から51%超となり、連結子会社となりました。カネカの公表資料にありますように、新製品の開発を主とした事業基盤の強化とスピードアップを実現し、事業シナジーの創出を目指します。当社が有する接着・シールに関する応用技術と、カネカが有する樹脂原料の設計や製造技術を融合すれば、製品開発力を一段と向上させられると確信します。例えば平成24年に販売を開始した、貼ってはがせる弾性粘着剤「セメダインBBX」シリーズはカネカと共同開発して成功を収めた製品です。

なお、当社のガバナンス体制、具体的な事業活動や戦略については大きな影響はありません。セメダインの強みは、ブランドの知名度、並びに川下で最終ユーザーと直接の接

点があり、ニーズの取り込みとソリューションを提供する力です。それらの強みを生かしていけるよう尽力していきます。

■ 平成29年3月期の連結業績予想

売上高	27,800百万円(前期比 8.0%増)
営業利益	900百万円(前期比 13.3%増)
経常利益	800百万円(前期比 7.2%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	500百万円(前期比 29.5%増)

**Q** 次期(平成29年3月期)の見通しはいかがですか。

**A** 各事業施策を確実に実行し、増収増益を見込んでいます。

次期の経営環境は不透明感が強く、停滞が続くと思われませんが、国内建築市場は回復基調にあり、営業、開発、生産が一体となった取り組みに尽力します。売上高は278億円(前年同期比8.0%増)、営業利益9億円(同13.3%増)、経常利益8億円(同7.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5億円(同29.5%増)を予想しています。

なお、消費税率の再引き上げについて、平成31年10月に延期することが政府より表明されましたが消費増税の延期に業績が左右されないよう取り組んでまいります。

重点  
施策

- 売上高の拡大とコスト体質の改善
- 高付加価値製品の拡販
- 海外売上高比率の向上

**Q** 新3か年中期経営計画が始まりますね。

**A** 中期経営計画とともに、平成35年(2023年)の創業100周年に向けた長期経営戦略「セメダインプライド2023」も策定しました。

次期は平成30年度までの中期経営計画の1年目になります。「売上高の拡大とコスト体質の改善」、「高付加価値製品の拡販」、「海外売上高比率の向上」という3つの重点施策に取り組んでまいります。その中で、第4次全社コスト改善プロジェクトチームを編成し、コスト体質の改善を継続的に進めていきます。既存品では量を確保し、生産性の向上やコスト削減による利益確保を図る一方、知財でガードした高付加価値製品をしっかりと育成していきます。

また、平成35年の創業100周年に向けた長期的な経営戦略を始動しました。従来当社は、堅実な経営に徹し、「射程距離にありそうな目標」を立ててきました。今回、創業100周年に向けた未来図について、議論を重ねた結果、今までと異なるアプローチによるチャレンジが必要であるとの結論に至りました。また、従来は開発・生産・営業の各部門がバラバラな取り組みをしがちでしたが、今後は部門間の連携を強化してまいります。当社グループの全従業員に「セメダインであることの誇り(プライド)」を一層、喚起し、心構えや企業風土からの変革を目指し、その意気込みを「セメダインプライド2023」と表しました。「セメダインらしさにこだわり、“つける”技術で顧客に貢献する」ことを全社ビジョンとし、接着・シール分野での存在感を高めていくこ

とを目標とし、売上高と利益の拡大に全力をあげて取り組みます。

**Q** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 安定配当を継続していきます。

当社は継続的な利益確保と、株主の皆様に対する安定的な利益配当という基本方針に基づき、当期の期末配当は1株当たり5円とし、中間配当5円と合わせた年間配当は10円となります。次期につきましても同額の中間配当5円、期末配当5円を合せた、年間配当10円を予定していません。

また、当社株式の流動性向上と投資家層の拡大を目指して、平成28年1月より単元株式数を1,000株から100株に変更しました。その結果、取引が活発化し、株主数も約40%増加しました。株主優待制度につきましては、商品群から選択していただく方式を採用し、株主の皆様のニーズに合致する商品を受け取っていただけるように致します(9ページ参照)。

株主の皆様におかれましては、創業100年に向けて新たな挑戦をしていくセメダインへの一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# NEWS&TOPICS



## 企業価値を高める人材を求めて

平成28年3月1日に、幕張メッセで開催された平成29年卒業予定の学生向け合同企業説明会に出展いたしました。当社としては久々の出展だったため、一からの準備となりましたが、当社のことを知らない学生にも理解しやすいようなプレゼンテーションや展示物の作成を心掛けて準備を進めました。その結果、当日は多くの学生にブースを訪れていただくことが出来ました。海外展開や働き方への質問も数多く出て、会社概要や働く魅力について理解してもらう良い機会になりました。今後も、当社の企業価値を高める人材の採用に努めてまいります。

## 「着るセメダイン」で光を纏う

平成28年1月に東京ビッグサイトで開催された第2回ウェアラブルEXPOに出展し、1万名を超えるお客様がセメダインブースにお立ち寄りくださいました。

今回は、服飾デザイナー・製作パートナーとセメダイン導電性接着剤を用い制作した、まさに文字通りのウェアラブルデバイスともいえる「着るセメダイン」を展示しました。透けるほど薄く、わずか数ミリの布に光をまとったその光る着物に、多くの方が足を止めてくださいました。また、各社TV局をはじめ、Webニュース、紙媒体など約240ものメディアにも取り上げていただきました。

<http://cemed.in/sxeca/> こちらのURLより「着るセメダイン」の動画をご覧ください。



## トルコ 横断橋工事採用

トルコ共和国の北西部、内海マルマラ海の東端イズミット湾に面する2つの都市を南北に結ぶ世界第4位(全長2,682m)の吊り橋(現在工事中)に「セメダインY630D」が採用されました。吊ケーブル架設工事の際の仮固定用樹脂として、大型吊り橋特有の課題解決のため、現場施工可能で、かつ硬化が非常に速くさらに高強度かつ強靱な定着樹脂としての性能を評価していただきました。



イズミット湾横断橋完成予想図

特集

# セメダインの技術

お客様のニーズに応える製品を開発しています。

市場開発部  
マーケティングG課長  
堀 大祐



熟練の技術不要で「剥がれない接着」を実現  
工期短縮+コスト削減でタイル張り工事を強力支援

リニューアル  
タイル張り専用  
弾性接着剤

## 『セメダインタイルエースPro』シリーズ

古くからタイル張りにはモルタルを用いた工法が主流でしたが、この工法のデメリットとして、施工後時間と共に浮きが生じ、剥落事故の発生が散見されることが挙げられます。その原因の一つは、熟練した職人の施工でなければ施工品質にバラつきが生じてしまうことが考えられます。

セメダインの看板製品であるタイル張り専用弾性接着剤「セメダインタイルエース」は、1液タイプのため、モルタルで必要な混練や気象条件による水分配合バランスの調整が不要であり、熟練した職人でなくとも安定した施工品質を実現できました。

多くの施工現場で好評をいただいた「セメダインタイルエース」ですが、冬場の低温下では「セメダインタイルエース」の伸びが悪くなり作業性が落ちること、また、仕上がり面を平らにするために下地の凸凹をモルタルで調整する必要があるという課題が残されていました。

これらの課題を解決するため、平成27年にタイル張り専用弾性接着剤「セメダインタイルエースPro」としてリニューアルいたしました。

リニューアルした「セメダインタイルエースPro」は、冬場の作業性を向上させるとともに、モルタルに代わって下地の凸凹の調整も行える下地調整剤としての性能も付与しました。これにより、材料を変えずに下地調整からタイル張りまで行え、安定した施工が可能になり、より一層、他社との差別化を図ることができました。

このように一人の職人が下地調整からタイル張りまでできるため、少子高齢化による慢性的な職人不足対応や工期短縮、現場管理の簡素化にも、貢献できると考えています。

また、「セメダインタイルエースPro」は、輸出規制の対象となる化学物質を排除することで、ゼネコン等の海外進出にも対応できるようになりました。

セメダインが生み出した【弾性】接着技術は、接着強度以上に剥がれにくさを重視しています。この技術を用いた“接着剤を使用する”という新たな建築工法の普及を通じて日本のみならず、これからさらに発展するアジアの建築市場にもグローバルに貢献していきます。



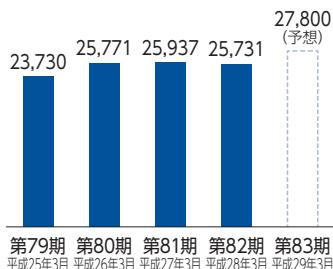
# 決算ハイライト

## 経営成績

(単位：百万円)

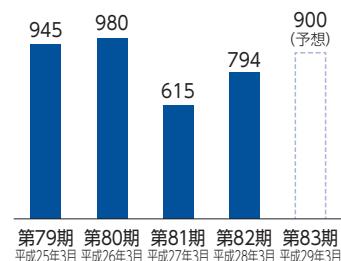
### 売上高

**25,731**百万円  
(前期比 0.8%減)



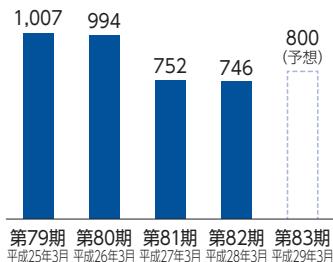
### 営業利益

**794**百万円  
(前期比 28.9%増)



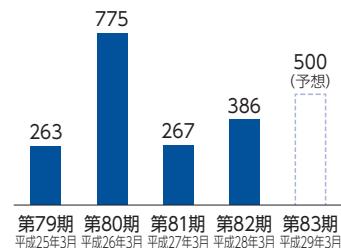
### 経常利益

**746**百万円  
(前期比 0.8%減)



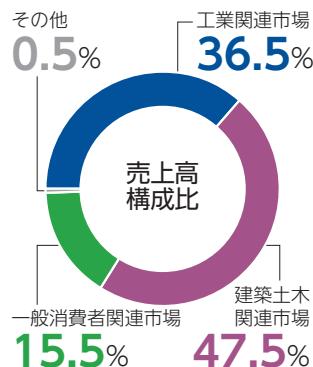
### 親会社株主に帰属する 当期純利益

**386**百万円  
(前期比 44.5%増)

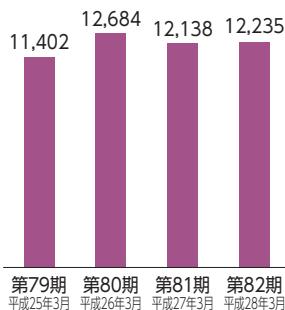


## セグメント情報

(単位：百万円)



### 建築土木関連市場売上高



### 工業関連市場売上高



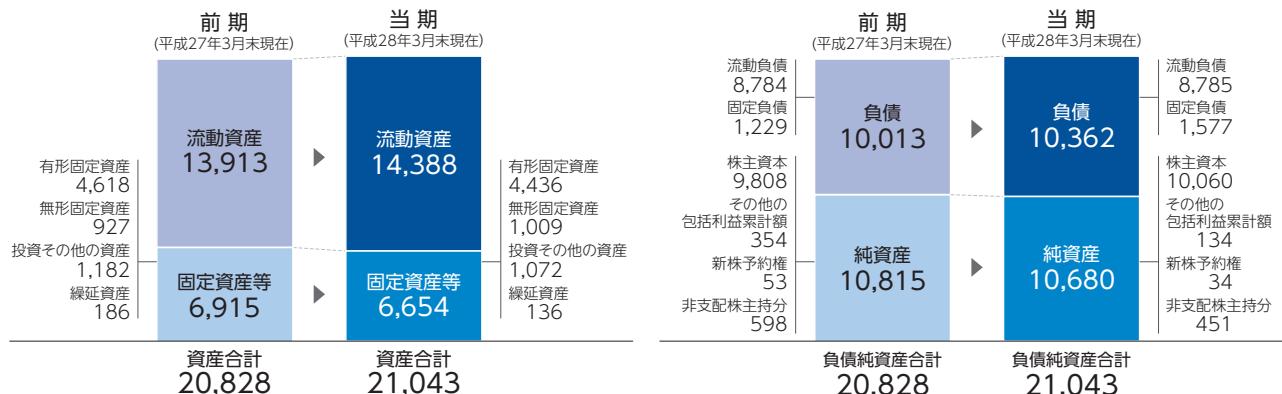
### 一般消費者関連市場売上高



※ その他で、不動産賃貸収入121百万円 (前期比5.1%増)となりました。

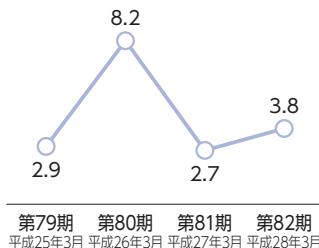
## 財務状況

(単位：百万円)



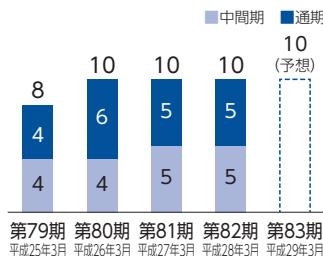
## ROE

(単位：%)



## 1株当たり配当金

(単位：円)



建築土木関連市場向け売上が持ち直したことや、一般消費者関連市場向け売上が堅調に推移した一方、工業関連市場向けの売上が減少いたしました。これにより売上高は前年同期比0.8%減の25,731百万円となりました。



原油価格の下落などに伴う材料費の減少や、前期に実施された厚生年金基金の解散に伴い人件費が減少したことなどから営業利益は増加いたしました。為替相場が円高になったことによる影響などから、経常利益は前年同期比0.8%減の746百万円となりました。

## WEBサイトのご案内



ホームページで当社の事業活動、株主投資家向け情報などを掲載しております。ぜひご利用ください。



セメダイン

検索

<http://www.cemedine.co.jp/>

# 株主様ひろば

当社の株主優待制度をご紹介します。

## 株主優待制度変更に関するお知らせ

株主の皆様には、平素よりセメダインをご支援いただき、誠にありがとうございます。

当社は、日頃のご支援に対する感謝の印として、また当社製品へのご理解を深めていただくため、当社製品等の詰め合わせを優待商品としてお贈りさせていただいておりました。この優待商品の内容を、今回より大きく変更いたしましたので、ご説明させていただきます。

当社は、平成28年1月より単元株式数を100株としております。これまでと同様に、1単元以上の株式を保有されている株主様を対象に優待商品をお贈りさせていただきますが、保有株式数に応じた内容へと変更させていただきます。また、皆様の接着のニーズにできるだけ合致するように商品を選択できる方式といたしました。

100株以上1,000株未満の株主の皆様には、300円～500円相当の当社製品を、1,000株以上の株主の皆様には、600円～1,000円相当の当社製品および1,000円相当の食品を贈呈させていただきます。別途ご案内を送付いたしますので、お間違えのないようご返信をお願い



いたします。

また、株主の皆様からの「ご意見・ご要望」を今後の事業活動の参考とさせていただくため、アンケートを実施いたします。優待のご通知にはアンケートもごさいますので、あわせてご回答をお願いいたします。いただいた貴重なご回答は、今後の経営や株主様向けの情報発信の参考とさせていただき、一部は次の事業報告書でご紹介する予定です。ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

## IRカレンダー



# 会社概要・株式情報 (平成28年3月31日現在)

## 会社の概要

商号	セメダイン株式会社 (CEMEDINE CO., LTD.)
本社	〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イースタワー
設立	昭和23年4月22日 (創業大正12年11月)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場2部)
資本金	30億5,037万5千円
従業員数	273名
主な事業内容	接着剤・シーリング材・粘着剤・特殊塗料・ コーティング剤およびその加工品の製造販売 接着および防水等に関する施工および請負
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 / リそな銀行 / 三菱UFJ信託銀行

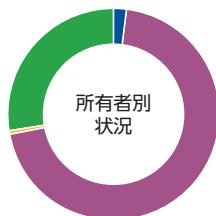
## 取締役および監査役 (平成28年6月22日現在)

代表取締役会長	松本 有祐	
代表取締役社長	岩切 浩	
取締役	舘野 信	生産・物流本部長
取締役	鈴木 禎爾	営業本部長・自動車事業部長
取締役	栢野 宣昭	管理本部長・情報統括室長
社外取締役	及川 隆夫	
社外取締役	小町 千治	
監査役 (常勤)	堀江 康信	
社外監査役	小澤 徹夫	
社外監査役	細野 幸男	
社外監査役	渡辺 政宏	

## 株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	15,167,000株
株主数	1,921名

※平成28年1月5日より単元株式数を1,000株から100株に変更しております。



## 大株主 (出資比率1%以上)

株主名	当社への出資状況		■ 金融機関、証券会社 2.0%
	持株数 (株)	出資比率 (%)	
株式会社カネカ	7,657,000	51.3	■ 外国法人等 0.3%
セメダイン共栄会	1,481,400	9.9	■ 個人・その他 27.5%
日本ウイリング株式会社	333,000	2.2	
株式会社LIXIL	300,000	2.0	
三菱商事株式会社	232,500	1.5	
アジアケンディジャパン株式会社	205,000	1.3	
セメダイン従業員持株会	167,840	1.1	

(注) 大株主の出資比率および株主の分布状況については、自己株式(259,179株)を控除して算出しております。

## 株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 利益配当金 3月31日・9月30日  
受領株主確定日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の  
口座管理機関
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (市場2部)
- 公告の方法 電子公告により行います。  
公告掲載URL  
(<http://www.cemedine.co.jp/>)  
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IR情報の詳細はホームページへ

セメダイン

検索

<http://www.cemedine.co.jp/>

## キーワードで知るセメダイン

KEYWORD.....



# 平成初



### 平成になって初めて、セメダインのテレビCMが全国放映されました。

3月29日のサッカーワールドカップ予選、テレビ朝日系列にて、セメダインのテレビCMが「平成初」全国放映されました。

「セメダインスーパーX」シリーズの特長をコミカルに伝える「少年編」と「主婦編」の2本が放映されると、すかさず、ツイッター上に「面白い」「笑った」「これ好きだ」などの声が投稿されるなど、好感度の高い反響が目立ちました。

このCMは、上記特番以外にも、3月の静岡・中国・四国エリアに続いて、5月に関東・関西エリア、8月に北海道・東北・東海エリアでも放映される他、「セメダインスーパーX」のスペシャルサイト「[superx.jp](http://superx.jp)」でもご覧頂けます。

昭和の時代には、3000シリーズや、コンクリメント、ペグアルファなどの商品CMを多数制作・放映し、カンヌグラ

ンプリの銀賞を受賞するなど、その評価も高かった当社ですが、三十年余りを経て、久しぶりにセメダインの名前を広くお届けすることができたことは至上の喜びです。

「良い商品を作る」とこと「良い商品がありますよと宣伝する」ことが等しく重要である、との言葉もあり、今後も、良い商品開発とあわせ、その良さを広く知らしめる宣伝活動にも注力していきます。

セメダインと聞くと、「懐かしい」と言われ、昔の思い出話をされることが多い昨今ですが、新たな技術と新たな商品開発で、イマドキの接着体験を生み出し続けているセメダインを、テレビや新聞・雑誌、街の看板や、インターネットなどを通じて今後もお伝えし続けます。ぜひご期待ください。

 **セメダイン株式会社**

本社 〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー  
Tel : 03-6421-7411



本冊子は環境保全のため再生紙を使用し、植物油インキで印刷しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。